

登録コード	L2981700	開講年度	2026				
担当教員	人文学部学務委員			副担当	田村 徳至		
授業科目	中等基礎教育実習						
英文授業名	Pradticum in Junior High School Classroom Teaching and Management						
授業タイトル	教育実習						
単位数	4	対象学生		講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室			遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2021Lカリ、2020Lカリ						
	【2022年度以前が対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー				3年間の教職課程で学んだことを活用し、中等教育学校で自分の専門科目および各領域の授業を実践することができる。		
授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	実習校でこれまでに学んだ内容を踏まえて、教科学習を中心に実践的に教育活動を展開する。						
授業計画	実施時期：5月～9月（6月上・中旬頃に行うことを原則）実習校と協議して決定します． 全授業時間…120時間以上（実習期間3～4週間） ・授業参観 ・授業担当（研究授業を含む） ・放課後の研究指導 ・学級経営の参加						
成績評価の方法	教育実習受入校での評価と、実習録等のデータから総合的に判断する。						
成績評価の基準	教育実習の「実習録」、「評価書」、「出勤簿」に基づいて評価します． 授業の達成目標の水準にあるか否かの基準は次の通りです． 卓越している（秀，90～100点）：上記3点全ての内容が優れていて，教員としての実践力を備えているレベルにある かなり上にある（優，80～89点） やや上にある（良，70～79点） 水準にある（可，60～69点） 水準よりやや下にある（不可，50～59点） 水準にない（不可，49点以下）						
事前事後学習の内容	教育実習受入校の担当教員の指示に従ってください． 関連の授業として「教育実習事前・事後指導」が設定されており，こちらも必ず受講してください．						
履修上の注意	必要があれば指示します						
質問、相談への対応	質問・相談は，随時，下記で受け付けます． tamura@shinshu-u.ac.jp						
教科書	藤井善章／小山茂喜 編著『教育実習・介護等体験 安心ハンドブック』，学事出版，2026，2,000円＋税・旧版のものでも可						
参考書	適宜示す。						